

手洗いやマスクの着用などの物理的な対策は、呼吸器系ウイルスの拡散を止めたり、遅らせたりするか？

公表日:

30 1月 2023

著者:

Jefferson T, Dooley L, Ferroni E, Al-Ansary LA, van Driel ML, Bawazeer

要点

マスクやN95/P2呼吸器の着用が、呼吸器系ウイルスの感染拡大の抑制に役立つかどうかは、評価した研究に基づく範囲では不明である。

手指衛生プログラムは、呼吸器系ウイルスの感染拡大を抑制するのに有効かもしれない。

(中略)

以下のような結果が得られた。

医療用または手術用のマスク

10件の研究が地域社会で行われ、2件の研究が医療従事者を対象に行われた。地域社会で行われた研究のみで評価すると、マスクの着用はマスクを着用しなかった場合と比較して、インフルエンザ様疾患/新型コロナウイルス感染症様疾患にかかる人の数にはほとんど差がない可能性がある(9件の研究、参加者276,917人)。検査で診断が確定したインフルエンザ/新型コロナウイルス感染症にかかった人の数もおそらくほとんど差がないだろう(6件の研究、参加者13,919人)。望ましくない効果はほとんど報告されていなかったが、不快感が挙げられていた。

Am score 21,428

この記事が話題にしているのは誰ですか？

ビデオ:システム



- 2023年1月マスクに効果は認められないのるRCTメタ解析論文公開
- 何十年もインフルエンザや新型コロナなどの呼吸器系疾患に対するマスクRCTで効果が認められ無いのだから「効果は無い」
- 「結論は出ていない、今後の研究が必要」は現実を認めたくない詭弁
- 少なくとも害もあるマスクを推奨してよい理由にはならない

図 3-8-1: コクランのRCTのメタ解析論文で効果無し